

学校だより



だいち たてる

若葉かおる学園

心ゆたかな子ども (よく考える子ども 力を合わせる子ども 健康で明るい子ども)

令和元年 7月 1日発行
練馬区立大泉学園小学校
練馬区大泉学園町 4-7-1
TEL 03-3923-0006
FAX 03-5387-2193

なんで、勉強しなきゃいけないの？

校長 小池 智彦

子供の頃、私はいつもこんなことを思っていました。でも思っただけで、それ以上は深く考えないまま、先生や親に言われるがままに我慢して勉強する子供でした。

学園小の子供たちって、どうなのでしょう。もしかすると心のどこかでかつての私のように「なんで勉強しなきゃいけないの？」と思っているかもしれません。そのような子供たちにどのように答えればよいのだろうかといろいろと思案していました。

そんなある日、NHK E テレの「Q～こどものための哲学」という番組を知りました。あるテーマについて子供目線で深く考える番組だそうです。そして何と1回目のテーマが「なんでべんきょうしなきゃいけないの？」だったのです。早速、視聴しました。(本も出ていることを知りました。)

苦手な算数に苦戦している3年生Qくんが主人公です。そもそもなんで勉強しなければいけないのか疑問を持ち、チッチというキャラクターと一緒に深く考え、勉強の意味を見出していきます。「なんで、勉強しなきゃいけないの？」→「勉強が嫌だから。」→「なんで、勉強が嫌いななの？」→「つまらないから。」→「なんで、つまらないんだろう？」→「役に立たないから。」→「なんで、役に立たないと思うの？」→「勉強しなくても生きていけるから。」

Qくんとチッチとのこんなやりとりが続きます。次にチッチが次のように問いました。

「じゃあなんで、大人は勉強しなさいって言うんだろうね？」

Qくんは、大人は子供のことがうらやましくて意地悪をしているんだと強く主張します。それを知って、今度はチッチは反論するように問います。

「なんで、そんなひどいことに従っているんだ？」、「勉強なんてしなくていいんだって、なんでそう言わないんだ？」、「言ったら大人におしおきされるの？ごはんもらえなくなるの？」と。

すると、Qくんは、ハッと我に返り、変化が表れます。今までの自分の考えは違うかもしれないと気づき始め、もう一度考え直します。大人は決して意地悪なわけではないし、勉強するのは役に立つこともあるし、勉強すればいろいろなことが分かるようになるし…と。

ここで、チッチが改めて問います。「勉強するといいいことって、ほかにもあるかな？」

Qくんは、次の答えに到達します。

「勉強しておけば、将来、もしかしたらロケットの開発者になるかもしれない。でも、勉強しなければ絶対になれない。つまり、勉強はしなきゃいけないわけじゃないけど、したほうが、自分が得するってこと！」

Qくんとチッチのやりとりのキーワードは「なんで？」で考えてみることです。「なんで」に答えると、また新たな「なんで」が出てきて、それを繰り返すことで深く考えていくことができたのです。もう一つ、大切なことを発見しました。それは、Qくんが自ら答えを導き出したことです。大人は、子供から問われると答えようとしてしまいます。子供は答えを知りたがるし、大人は教えたがるからです。しかし、チッチが大人のあるべき姿のモデルを示しているように思いました。

さて、1学期の学校生活も残り15日となりました。学園小の子供たちは「勉強することの意味」を自分なりにどのように考えているのでしょうか。聞いてみたいと思っています。

(出典：NHK E テレ「Q～子供のための哲学」なんでべんきょうしなきゃいけないの？ ほるぷ出版)

7月の予定 		
1	月	全校朝会 委員会活動 安全指導
2	火	保護者会(5・6年) 5時間授業 移動教室説明会(5、6、ひ6年)
3	水	5時間授業
4	木	都学力調査(5年) 5時間授業 保護者会(3・4年)
5	金	月・火・木時程 保護者会(1・2年、ひ) 教育実習終
6	土	
7	日	
8	月	全校朝会 クラブ活動④
9	火	
10	水	
11	木	ユニセフ集会
12	金	薬物乱用防止教室(6年) ユニセフ募金①
13	土	学校公開日 ユニセフ募金② 葉かげの集い
14	日	
15	月	海の日
16	火	放送朝会 地区班活動(5校時) 避難 訓練を含む ユニセフ募金③
17	水	
18	木	
19	金	1学期終業式(月火木時程) 5時間授業
20	土	
21	日	
22	月	夏季休業日始
23	火	夏季水泳指導①
24	水	夏季水泳指導②
25	木	夏季水泳指導③
26	金	夏季水泳指導④
27	土	
28	日	
29	月	夏季水泳指導⑤
30	火	夏季水泳指導⑥
31	水	夏季水泳指導⑦
8月の予定 		
22	木	夏季水泳指導⑧
23	金	夏季水泳指導⑨
24	土	
25	日	
26	月	夏季水泳指導⑩
27	火	学力補充教室①(1~5年生) 夏季水泳指導⑪(6年生のみ)
28	水	学力補充教室②(1~5年生) 夏季水泳指導⑫(6年生のみ)
29	木	
30	金	
31	土	夏季休業日終

遠足(1・2年)について

2年担任 吉田明宏

梅雨の晴れ間の20日(木)、遠足に行くことができました。

1・2年生がなかよし班でペアになって手をつなぎ、大泉中央公園まで歩いて行きました。2年生が車道側を歩いたり、広がらないように気を付けたりしながら向かいました。

公園に着いてからは、班のメンバーで、陽だまりの広場・砂場や遊具・ソリゲレンデの3か所に分かれて遊びました。鬼ごっこやかくれんぼ、ソリ遊びなど、思い切り遊ぶことができました。その後は、クラス遊びをしました。それぞれのクラスで話し合っって決めた遊びで楽しみました。

帰りは暑さですすがに疲れが見えましたが、最後まで「集団で行動する」ことをしっかりと意識して動くことができました。

みんなで協力して、楽しく安全な遠足にすることができました。

岩井宿泊学習(ひまわり学級)について

ひまわり学級担任 山内 啓輔

6月24日(月)から26日(水)まで、2泊3日の岩井宿泊学習に行ってきました。ひまわり学級では毎年2回、1年生から6年生まで、自立や友達と協力して生活することなどをねらいとして宿泊学習を行っています。

岩井では様々な体験をしてきました。一日目は、あいにくの天気でハイキングが中止となってしまいましたが、野鳥の森で、野鳥のビデオ視聴をしたり、鳥の剥製のあるジオラマを見学したりしました。二日目は、マザー牧場に行きました。羊やアルパカ、子ぶたなど、いろいろな動物たちと触れ合いました。「命の大切さについて考える」貴重な経験となりました。暑い中で食べるソフトクリームも最高でした。三日目は、袖ヶ浦公園で、体をたくさん動かして遊びました。

2泊3日、友達と同じ時間を過ごし、共に支え合い、はげまし合いながらさまざまな成長が見られました。

○水着の管理について

雨天時や気温が低く水泳学習が中止になった場合には、水着の適切な管理上、その日のうちに持ち帰らせるようにします。

○学力補充教室について

昨年度から“担任が補充を必要とみなす児童のみ参加”となっています。後日、担任より該当の児童にお知らせを配布します。

7月

生活目標: 身の回りの整理・整頓をしよう

保健目標: 夏を元気にすごそう

